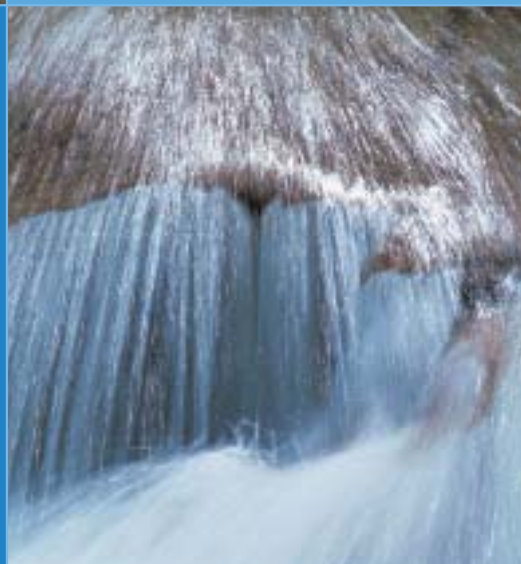




# 札幌水道長期構想



札幌市水道局

## ごあいさつ

札幌水道は、政令指定都市の中では最も遅い昭和12年(1937年)に誕生しました。その後は、高度経済成長期の急速な人口増加や生活水準の向上、政令指定都市への移行などによる水需要の急激な増加に対応するため、水源を確保し、また、浄水場や配水池などの水道施設を計画的に整備し、利用者のみなさまに安全な水の安定供給に努めてまいりました。

その結果、現在は、99.8%という高い普及率を達成し、都市活動や市民生活を支えるライフラインとして欠くことのできないものとなっています。

一方、21世紀を迎えた今日、水道は大きな転換期を迎えています。量的な充足がほぼ達成された中、健全財政を維持しながら、水質の一層の向上、災害に強い水道システムの構築、多様化する利用者ニーズへの対応など質的な充実に対して、水道に寄せられる利用者の期待は高まってきています。さらには、貴重な水資源を利用している水道事業者として環境やエネルギー問題への対応も求められています。

このような中、私どもは、さまざまな課題に適切に対応し、将来にわたって安全で良質な水を安定して供給していくための道標として、このたび「札幌水道長期構想」を策定いたしました。

この「札幌水道長期構想」は概ね四半世紀を見据えたビジョンといえるものです。そのため、ここに描かれた目標を実現するための施策や事業は、札幌市全体で取り組んでいます「札幌新まちづくり計画」を踏まえながら、中期計画の中で具体化し、その内容は、利用者のみなさまに公表していく予定です。

最後に、このたびの「札幌水道長期構想」の策定は、新たな世紀の札幌水道のスタート地点に立ったにすぎません。これから、水道事業を取り巻く社会環境がどのように変わっていくかを見通すことは非常にむずかしいこととは思いますが、私どもは、こうした変化に対して「札幌水道長期構想」や施策を適宜見直していくなど柔軟な事業運営に努め、利用者のみなさまに信頼される水道を目指していきたいと考えておりますので、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

平成16年(2004年)4月



札幌市水道事業管理者

小川 敏雄

# 目次

## CONTENTS

<b>I 策定にあたって</b> .....	2
1 札幌水道長期構想の策定趣旨 .....	2
2 札幌水道長期構想の位置づけ .....	2
<b>II 札幌水道のあゆみ</b> .....	3
<b>III 水道事業を取り巻く社会環境の変化</b> .....	6
1 水需要の変化 .....	6
2 国内外における規制緩和の動き .....	8
3 環境への配慮 .....	9
4 地方分権・協働型社会 .....	10
<b>IV 札幌水道の現状と課題</b> .....	11
1 水源 .....	11
2 水道施設 .....	14
3 利用者サービス .....	23
4 経営 .....	27
<b>V 札幌水道の今後の目指すべき方向</b> .....	32
1 基本理念 .....	32
2 基本的な考え方 .....	33
3 目標と施策の基本方向 .....	34
(目標1) 安全で良質な水の確保 .....	34
<施策の基本方向1> 水源の確保と水源保全の強化 .....	35
<施策の基本方向2> 水質管理の強化 .....	36
(目標2) 安定した水の供給 .....	38
<施策の基本方向3> 効率的な施設整備と維持管理 .....	39
<施策の基本方向4> 総合的な危機管理システムの確立 .....	41
(目標3) 利用者に満足される水道 .....	43
<施策の基本方向5> 利用者サービスの充実 .....	44
(目標4) 健全経営のもと自律した水道 .....	46
<施策の基本方向6> 経営の健全化・効率化 .....	47
<施策の基本方向7> 活力ある人材・組織づくり .....	48
<施策の基本方向8> 環境に配慮した事業運営の推進 .....	50
<b>VI 今後の事業展開にあたっての視点</b> .....	52
1 協働 .....	52
2 先進性 .....	54
3 効率性・効果性 .....	56
<付属資料> 札幌水道長期構想の策定経過 .....	58